

6 市町村の国際交流

(令和7年11月末現在)

(1) 県内市町村の姉妹(友好)提携状況

(※岩手県内18市町が海外12の国・地域、31県市町と提携)

市町村名	相手国・都市名	提携の経緯等	締結年月日
盛岡市	カナダ ブリティッシュ・コロンビア州 ビクトリア市	盛岡市出身の新渡戸稲造博士がビクトリア市ジュビリー病院で客死したことにちなみ、盛岡市民団体によるビクトリア市訪問、ビクトリア市長の盛岡市訪問等の交流を経て、姉妹提携を結んだ。	昭和60.5.23
	台湾 花蓮縣 花蓮市	平成12年、台北国際旅行博で盛岡山車を紹介して以降、相互訪問を継続し、盛岡山車派遣交流団の訪台に合わせて友好交流協定を締結した。	令和元.11.24
宮古市	中国 山東省 烟台市	宮古市の医師が市を通じ、烟台市の「烟台経済技術開発区医院」へ人工透析装置を贈ったのがきっかけとなり、友好提携に至った。	平成5.10.26
	フィリピン パンゲット州 ラ・トリニダッド市	旧新里村出身でマニラ在住のJICA職員の紹介で同市を訪問した際、同市長から新里村との交流をしたいとの強い要望があり、姉妹提携を結んだ。	平成4.8.7
大船渡市	スペイン アンダルシア州 ウェルバ県 パロス・デ・ラ・フロンテラ市	コロンブスが黄金の国「ジパング」(日本)を目指して乗船した「サンタ・マリア号」の取り持つ縁でパロス・デ・ラ・フロンテラ市から姉妹提携の希望があり、「サンタ・マリア号」の復元船の大船渡入港に合わせ、姉妹提携を結んだ。	平成4.8.12
花巻市	米国 アーカンソー州 ホットスプリングス市	市民憲章で国際化がうたわれたことから姉妹都市交流の機運が高まり、候補地の調査を日本国際交流センターに依頼。自然豊かな温泉地の同市を紹介され、市民調査団や中高生の派遣を経て、姉妹都市提携を結んだ。	平成5.1.15
	オーストリア ニーダーエステライヒ州 ベルンドルフ市	旧大迫町でハヤチネウスユキソウがエーデルワイスによく似ていることをきっかけに国際交流の構想が生まれ、当時の大迫町長が外務省に相談。オーストリア政府推薦の同市を紹介され、友好都市を結んだ。	昭和40.10.12
	米国 バーモント州 ラットランド市	旧石鳥谷町長がインディアナ州のアーラム大学を訪問した際に同大教授の教え子を通じてラットランド市長を紹介され同市を訪問。両市・町長が姉妹都市交流について意気投合したことなどから姉妹都市提携を結んだ。	昭和61.10.8
	中国 遼寧省 大連市西崗区	花巻空港を利用したチャーター便の運行をきっかけに相互交流を深め、友好都市提携を結んだ。	平成20.1.23
北上市	米国 カリフォルニア州 コンコード市	コンコード市長及びコンコードテレビ社長が、北上市出身の片方善治氏(システム研究センター理事長)と面識交流があり、両市に共通性があることから、姉妹提携を結んだ。	昭和49.10.25
	中国 河南省 三門峡市	来日中であった中国人民対外友好協会河南省分会長を北上日中友好協会が招待した際、北上市長との懇談の中で、河南省の都市との友好提携の話題が出たことから、同省の中で北上市と類似性のある三門峡市と友好提携を結ぶこととなった。	昭和60.5.25
久慈市	米国 インディアナ州 フランクリン市	フランクリン市は、久慈市名誉市民故タマシ・アレン女史の出生地であることから、同女史の一時帰国(昭和35)の際、久慈市長からフランクリン市長に対し姉妹提携の要請を依頼し、提携を結んだ。	昭和35.10.5
	リトアニア クライペダ県 クライペダ市	久慈市は、日本唯一の琥珀産地であることから、琥珀原石の輸入をきっかけに、ソ連(当時)の琥珀産地との姉妹都市提携の話が持ち上がり、昭和63年2月、駐日ソ連大使が久慈市を公式訪問した際に具体化し、姉妹提携を結んだ。	平成元.7.9
遠野市	米国 テネシー州 チャタヌーガ市	平成3年(1991年)から人材育成を目的に高校生をチャタヌーガ市に派遣して以来、毎年、交流を続けていることを契機に姉妹提携を結んだ。	平成29.9.15

市町村名	相手国・都市名	提携の経緯等	締結年月日
一関市	オーストラリア クィーンズランド州 セントラルハイランズ市	平成元年にオーストラリアから旧藤沢町に招致した英語講師から旧デュアリング町を紹介されたことにより、両町の交流が始まり、姉妹都市提携を結んだ。 (平成20年3月15日に、デュアリング町を含めた周辺4自治体との合併により、セントラルハイランズ市が新たに誕生したもの。)	平成5.7.27
陸前高田市	米国 カリフォルニア州 クレセントシティ市及びデル ノータ郡	東日本大震災津波による流失した高田高校の実習艇が漂着した縁により交流がはじまり、姉妹提携を結んだ。	平成30.4.16
釜石市	フランス プロヴァンス・アルプ・コートダ ジュール州 アルプ・ド・オート プロヴァンス県 ディーニュ・レ・バン市	平成4年7月に開催された三陸・海の博覧会のシンボルとなった「アンモナイトの壁」剥離標本の設置に協力したことがきっかけとなり、姉妹提携に至った。	平成6.4.20
奥州市	オーストラリア ビクトリア州 グレートーシェパトン市	アジアクラブ理事(当時)であった椎名素夫氏が、旧江刺市と同じように果樹栽培や畜産などの農業が盛んで、ともに産業の町でもあるシェパトン市との交流の話を持ち込んだことがきっかけとなり姉妹都市提携を結んだ。	昭和54.3.3
	オーストリア チロル州 ロイテ市	ロイテ市及びブライテンヴァング市に本拠地を置くプランゼー社が江刺中核工業団地に関連会社を立地したことがきっかけとなり姉妹都市提携を結んだ。	平成3.6.7
	オーストリア チロル州 ブライテンヴァング市	ロイテ市及びブライテンヴァング市に本拠地を置くプランゼー社が江刺中核工業団地に関連会社を立地したことがきっかけとなり姉妹都市提携を結んだ。	平成3.6.7
	米国 カリフォルニア州 トーランス市	奥州市出身の大谷翔平選手がロサンゼルス・ドジャースへの移籍をきっかけに、トーランス市から奥州市に友好都市締結に関する親書が届いたことにより、友好都市協定を結ぶに至った。	令和6.10.1
紫波町	米国 ミシガン州 ボーテジ市	紫波町で英語指導助手を勤めた青年が仲介役となって青少年交流が実り、姉妹提携を結んだ。	平成9.11.25
	オーストラリア クィーンズランド州 サザンダウンズ市	紫波町と自然、気候、環境など共通点が多く、さらには、スケールの大い農業、ワイナリー経営等学ぶところが多いことから姉妹提携を結んだ。	平成21.2.19
矢巾町	米国 ミシガン州 フリモント町	平成3年度に矢巾町に着任した英語指導助手の父親がフリモント町で教師をしていた縁で交流を開始し、中学生の相互訪問などの交流が発展して姉妹提携を結んだ。	平成7.7.22
金ケ崎町	米国 マサチューセッツ州 アマースト町	昭和63年にアマースト町出身の英語指導助手が町に着任したのがきっかけとなり、中学生の海外派遣等へ発展し、姉妹提携を結んだ。	平成5.8.18
	中国 吉林省 長春市	漢方を生かしたまちづくり構想の下、漢方のノウハウを学ぶため中国の市町村の交流を模索していたところ、近隣在住の中国人労働者と通訳(長春市政府職員)を通し、友好提携を結んだ。	平成元.2.1
	ドイツ チューリンゲン州 ライネフェルデ・ヴォルビス市	金ケ崎町の伝統的建造物の調査研究を行っていた大学教授がライネフェルデ市に同町を紹介したことから両市町の交流が始まり、金ケ崎町長が同市の記念祭に招待されたことを機に姉妹提携を結んだ。 (平成16年3月にライネフェルデ市を含めた周辺9自治体との合併によりライネフェルデ・ヴォアビス市が新たに誕生したもの。)	平成14.9.28
平泉町	中国 浙江省 天台県	天台県は、中尊寺と毛越寺の宗派天台宗発祥の地とされている。平成10年に町議会議員全員が訪問して以来、互いに交流を積み重ね、友好都市提携を結んだ。	平成22.6.28
大槌町	米国 カリフォルニア州 フォートブラッグ市	大槌町で平成9年に開催された全国豊かな海づくり大会にフォートブラッグ市長を招待したことがきっかけで交流が始まり、姉妹提携を結んだ。両市町は太平洋を挟み同緯度に位置する。	平成17.10.15
山田町	オランダ ユトレヒト州 ザイスト市	江戸時代にオランダ船が山田湾に入港したという史実をきっかけとして交流が始まり、日本とオランダとの交流400周年の年に、ザイスト市長の訪問を得て、友好都市締結を行った。	平成12.5.13
岩泉町	米国 ウィスコンシン州 ウィスコンシン・デルズ市	岩泉町で英語指導助手を勤めたウィスコンシン・デルズ市出身の青年が仲介役となって青少年交流が実り、姉妹提携を結んだ。	平成4.8.6

(岩手県ふるさと振興部国際室調べ)

(注) 中国との提携にあたっては「姉妹提携」と言わず「友好提携」と称している。